



平成30年6月18日

「ふくいスマートデコミッションング技術実証拠点」の 運用開始について

文部科学省の支援施策である平成28年度補正「地域科学技術実証拠点整備事業」*に、当機構が応募した「ふくいスマートデコミッションング技術実証拠点」が採択され、昨年度より本拠点の整備を進めてまいりましたが、昨年度末に施設の建設が完了致しました。今般、設備の調整等が完了し、運用できる準備が整いましたので、本日より運用を開始致しました。

本拠点は、国内外で原子力発電所の廃止措置ニーズが高まりつつある中、我が国の約1/4の原子力発電所が設置され、長年の経験で原子力施設を熟知する地元企業や、福井大学、若狭湾エネルギー研究センター等の教育・研究インフラを有する福井県の強みを活かし、若狭地区の電気事業者（関西電力株）、日本原子力発電株）と連携を図りつつ、技術力強化により原子力発電所の「廃止措置ビジネス」をリードする地元企業の成長を支援し、地域経済の発展と廃止措置の課題解決に貢献するものです。

このため、廃止措置の実用技術として有望と考えられる原子力発電所の複合現実感（Mixed Reality：MR）システムを設置するとともに、レーザー切断技術の高度化関連施設（多機能レーザーヘッド開発、切断シミュレーションコードの高度化）ならびに、有望なシーズ技術等により実機やモックアップを用いた解体実証試験を行う施設を含む3つのフィールドの整備を行いました。

今後とも、本拠点が魅力的な施設として末永く利用して頂けるように、皆様のニーズの把握とそれを踏まえた取り組みを行ってまいります。

*）文部科学省平成28年度補正「地域科学技術実証拠点整備事業」

地域の大学・公的研究機関等で生まれた研究成果を事業化につなげ、地域が成長しつつ一億総活躍を実現していくために、企業と大学・公的研究機関等が連携し、研究等の成果を実証するための施設・設備を整備するもの。

【ふくいスマートデコミッションング技術実証拠点に関するお問い合わせ先】

敦賀総合研究開発センター

レーザー・革新技术共同研究所 革新技术開発グループ

電話：0770-21-5033（直通） FAX:0770-25-5782

ホームページ：https://fsd.jaea.go.jp